

## 第3章

# 「個別の教育支援計画」の 様式例と作成上の留意点

### 「個別の教育支援計画」

- ◆ 様式例と作成上の留意点
- ◆ 記入例①
- ◆ 記入例②

### 「個別の教育支援計画」

- ◆ 様式例と作成上の留意点
- ◆ 記入例

個別の教育支援計画……様式例と作成上の留意点

個別の教育支援計画

NO. 1-1 (プロフィール表)

○年○月○日作成

|                                   |   |           |        |                                    |        |
|-----------------------------------|---|-----------|--------|------------------------------------|--------|
| ふりがな                              | ○○ ○○   |           | 学校名    | 学校                                 |        |
| 氏名                                | ○○ ○○   |           | 学 年    | 生 年 月 日                            |        |
|                                   |   |           | 年      | 年 月 日                              |        |
| ふりがな                              |   |           |        |                                    |        |
| 住 所                               | 〒   |           |        |                                    |        |
|                                   | TEL ( ) -   |           |        |                                    |        |
| 家族構成                              | 続柄  | 氏 名       | 職業・学校等 | その他の特記事項                           |        |
|                                   |   | 同居人のみ記入する |        | 家族構成や状況などについて、指導や支援に必要な情報があれば記入する。 |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
| 生育歴                               | ・小学校までの様子は、現在の本人の特性を理解する上で重要な情報になるので、保護者からできるだけ具体的に聞きとり記入する。<br>・具体的には、「周産期や乳幼児健康診断の時に見られた特徴」「始歩や始語の時期」「保育所の在籍期間」「小学校で在籍した学級の種別と期間」「保育所や小学校での行われた特別な配慮や実態に関する内容」「専門機関での診断や相談の時期と内容」などが考えられる。<br>・地域の教育支援委員会の判断(措置)についても保護者の了解が得られれば、記入する。 |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
| 医療機関等の相談記録                        | 年 齢   | 相談機関名     | 内 容    |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
|                                   | ・各種訓練、リハビリ、相談に関わった医療及び専門機関名と、その内容について時期を含めて記入する。  |           |        |                                    |        |
|                                   |   |           |        |                                    |        |
| 障害の状況                             | ・障害名や支援が必要となる状況について記入する。  |           |        |                                    |        |
| 手 帳                               | 療 育 手 帳   | [有・無]     | A B C  | [認定                                | 年 月 日] |
|                                   | 身体障害者手帳   | [有・無]     | 種 級    | [認定                                | 年 月 日] |
|                                   | ( ) 手帳  |           | 級      | [認定                                | 年 月 日] |
| ・手帳の取得状況について記入する。更新の場合は、訂正して書き直す。 |   |           |        |                                    |        |

・このページは3年ごとに更新することを原則とする。なお追記は随時行う。  
 ・保護者との協力の下に記述する。  
 ・実態把握の視点については、「障害のある子どもの教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて」[文部科学省初等中等教育局特別支援教育課・令和3年6月]の第3編「障害の状態等に応じた教育的対応」を参考。

NO. 1-2 (プロフィール表)

|  |   |
|--|---|
| 見<br>童<br>生<br>徒<br>の<br>現<br>在<br>の<br>様<br>子 | [身体・運動、生活 (よく行く場所など)、社会性、学習など]  |
|  | ・本人の学習や生活に関することで、指導や支援をする上で必要と思われる情報を記入する。  |
|  | ・日々の活動記録ではなく、本人の全体像を書くように心がける。  |
|  | ・本人の実態については、「～できない。」という書き方ではなく、「～が苦手である。」「～に苦労している。」「～ができる。」という、子どもの立場に立った書き方をするのがよい。 |
|  | ・現担任だけでなく、本人に関わる複数の教員や校内委員会での情報をもとに記入するとよい。   |
|  | ・項目については、「身体・健康」「運動」「家庭生活」「社会性(身辺自立)(対人関係)(集団活動)(移動能力)(自己統制)」「学習」「性格」などが考えられる。        |
|  | ・なお、項目は本人の特徴を表すものとして必要と思われるものを取り上げればよい。   |
|  | ・学習については、国語や算数・数学の内容を中心に子どもの特徴がよく表れているものを記入する。  |
|  | ・医療、福祉関係からの指示や意見があれば、ここへ記入する。(機関名や担当者、時期も記入する。)                                       |
|  | ・生活マップなどがあれば、ここへ添付するのもよい。   |
|  | ・記入者以外から得た情報については、誰から得た情報なのか、わかるようにしておく。  |
|  | ・内容が増えた場合は、新しい用紙に記入する。(複数枚でもよい。)  |
|  |   |
|  |   |

個別の教育支援計画……様式例と作成上の留意点

NO. 2 (経年記録表)

|  |      |  |       |   |  |
|--|------|--|-------|---|--|
| 児童・生徒名   |      | 作成年月日  | 年 月 日 | 作成者名  |  |
| 入学前(幼稚園・保育所・小学校)の情報  |      |  |       |   |  |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 ・特に行っていた支援や配慮について記入する。             </div> |      |  |       |   |  |
| 将来の希望  |      | 各 期 の 目 標  |       | 各期における担任・関係機関による支援  |  |
|  | 入学期  | <ul style="list-style-type: none"> <li>入学後で初めて立案するときは、できるだけ早い時期に特別支援教育コーディネーターらと共に、保護者と連絡を取り作成をしていく。</li> <li>各期の目標については、長期的な展望にたって立案(現段階における将来の希望)していくが、無理に全部の時期を埋める必要はない。</li> <li>保護者や本人の思いを大切にす。</li> <li>進級や進学などの節目では、保護者と共に見直すことも必要であり、その時点で加筆修正を行っていく。</li> </ul> <p style="margin: 5px 0 0 0;">〈中学校(途中)から作成する場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校から教育支援計画が上がってくる場合には、小学校高学年までの部分においては、中学校で書き直す必要はない。</li> <li>中学校以降については、保護者との確認の中で変更があれば、加筆修正していく。</li> </ul> |       | <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな指導をして、どんな成果や課題があったかを記入する。</li> <li>学校内だけではなく、専門機関での取組の様子や家庭生活での変化なども記入するとよい。</li> </ul> |  |
|  | 小中学年 |  |       |   |  |
|  | 小高学年 |  |       |   |  |
|  | 中学   |  |       |   |  |
|  | 高校   |  |       |   |  |
| 成人   |      |  |       |   |  |

・このページは、3年ごとに更新することを原則とするが、加筆修正は随時行う。

個別の教育支援計画……様式例と作成上の留意点

NO. 3 (支援の計画表)

年 月 日作成

|   |   |  |   |                            |   |               |
|---|---|--|---|----------------------------|---|---------------|
| 学 年   | 児童<br>生徒<br>氏名  |  | 作成者   |                            | 所属  |               |
| 年   |   |  |   |                            | 職名  |               |
| 本人の<br>願 意  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習面と生活面(どちらか一方でもよい)における、本人の願いを聞き取って記入する。</li> <li>本人に発語がなければ、保護者から聞き取る。</li> <li>この内容は、本年度の目標に可能な限り反映させること。</li> </ul> |  |   | 保<br>護<br>者<br>の<br>願<br>い | <ul style="list-style-type: none"> <li>左の「本人の願い」欄と同様に保護者の願いを聞き取って記入する。</li> <li>この内容は、本年度の目標に可能な限り反映させること。</li> </ul> |               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「本人の願い」「保護者の願い」は、個別の指導計画の「願い」に転記する。</li> </ul> |   |  |   |                            |   |               |
| 本年度の<br>目 標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と相談しながら、願う姿(この1年で伸ばしたい重点目標)をできるだけ具体的に設定する。</li> <li>教師や保護者の願いだけでなく、本人のニーズにも照らし合わせること。</li> </ul>                    |  |   | 支<br>援<br>の<br>手<br>だ<br>て | <ul style="list-style-type: none"> <li>考えられる大まかな手だてを記入する。(指導場面や方法など)</li> <li>学校での取組とともに、家庭での協力も記入する。</li> </ul>      |               |
|   |   | 現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど  |   |                            |   | 連 絡 先 ・ 担 当 者 |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>の<br>具<br>体<br>的<br>支<br>援<br>・<br>連<br>携<br>等                    | 医療  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人が関わっている関係機関からのアドバイスについて記入する。</li> <li>関係機関に関わっている頻度(通っている回数など)がわかれば記入する。</li> <li>かかわりがあった時点で、加筆していく。</li> <li>連絡先や担当者を明記しておくことで相談や情報交換を行いやすくしておき、連携して支援に当たることを心がけるようにする。</li> </ul> |                            |   |               |
|   | 福祉  |  |   |                            |   |               |
|   | 教育  |  |   |                            |   |               |
|   | 地域  |  |   |                            |   |               |
|   | 労働  |  |   |                            |   |               |
|   | 保健  |  |   |                            |   |               |
|   | その他   |  |   |                            |   |               |
| 【合理的配慮】   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>合意形成が図られた合理的配慮の内容を記入する。</li> <li>次年度以降引継ぐ内容については、【次年度への引継事項】に記入する。</li> </ul>   |   |                            |   |               |
| 【評価】  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に対する具体的な変容を客観的に評価し、記入する。</li> <li>担任だけでなく、校内委員会で多くの立場から評価すること。</li> <li>関係機関の担当者からの評価を記入する。</li> </ul>                        |   |                            |   |               |
| 【次年度への引継事項】   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して行う支援や合理的配慮、再検討する事柄について記入する。</li> <li>校内だけでなく、関係機関との連携についても引き継ぐことがあれば記入する。</li> <li>中学校への引継ぎについては、保護者の同意を得ることが必要。</li> </ul> |   |                            |   |               |
| 心<br>理<br>検<br>査  | 検査の種類〔 〕  | 検査の結果〔 〕   |   |                            |   |               |
|   | 検査者名〔 〕   | 検査月日〔 年 月 日 〕  |   |                            |   |               |
|   | 検査の種類〔 〕  | 検査の結果〔 〕   |   |                            |   |               |
|   | 検査者名〔 〕   | 検査月日〔 年 月 日 〕  |   |                            |   |               |
| 【特記事項】  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>知能検査(田中ビネー-V、WISC-IVなど)の結果月を記入する。</li> <li>特記事項には、大まかな結果の解釈についても記入する。</li> <li>検査用紙や詳しい分析結果などがあれば、必ず添付しておく。</li> </ul>          |   |                            |   |               |

・このページは、関係機関との連携を中心に支援内容等を記入し、毎年作成する。加筆修正は随時行う。

個別の教育支援計画

NO. 1-1 (プロフィール表)

○年○月○日作成

|      |  |               |             |  |  |  |
|------|--|---------------|-------------|--|--|--|
| ふりがな | ○○ ○○  |               | 学校名         | ○○○立○○小学校  |  |  |
| 氏名   | ○○ ○○  |               | 学 年         | 生 年 月 日  |  |  |
|      |  |               | 年           | ○年○月○日   |  |  |
| ふりがな |  |               |             |  |  |  |
| 住 所  | 〒 ○○○-○○○<br>○○○○○○○○○○○○○○ TEL (○○○) ○○ - ○○○○  |               |             |  |  |  |
| 家族構成 | 続柄   | 氏 名           | 職業・学校等      | その他の特記事項   |  |  |
|      | 父  | ○○ ○○         | 自営業         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母は本人が幼少より別居</li> <li>・現在、母は隣市で一人暮らし</li> </ul> |  |  |
|      | 兄  | ○○ ○○         | ○○中学○年      |  |  |  |
|      | 祖父   | ○○ ○○         |             |  |  |  |
|      | 祖母   | ○○ ○○         |             |  |  |  |
|      |  |               |             |  |  |  |
| 生育歴  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産時の体重 2,730g 歩き始め 18か月 始語 不明</li> <li>・3歳児健診で言葉に遅れがあると指摘される。</li> <li>・○○年○月 ○○児童相談センターで、C判定を受ける。</li> <li>・○○年○月 ○○クリニックで言語訓練を受ける。</li> <li>・○○年○月 小1 言語障害通級指導教室にて1年間指導を受ける。</li> <li>・○○年○月 小2 特別支援学級(知的障害)へ入級。</li> <li>・○○年○月 ○○学園で言語訓練を受ける。</li> </ul> |               |             |  |  |  |
|      | 医療機関等の相談記録   | 年 齢           | 相談機関名       | 内 容  |  |  |
|      |  | 5歳            | ○○病院・○○医師   | 発達の検診を受ける。   |  |  |
|      |  | 6歳            | クリニック・○○聴覚士 | 言語訓練を受ける。10歳終了   |  |  |
|      |  | 11歳           | ○○学園        | 言語訓練を受ける。  |  |  |
|      |  | 12歳           | ○○大学附属病院    | 経過観察中  |  |  |
|      | 障害の状況  | 自閉傾向有り (診断無し) |             |  |  |  |
| 手帳   | 療育手帳 [(有)無] A B (C) [認定 年 月 日]<br>身体障害者手帳 [有・(無)] 種 級 [認定 年 月 日]<br>( ) 手帳 級 [認定 年 月 日]  |               |             |  |  |  |

\*加筆修正は随時行う。(上記丸ゴシック体の部分)

個別の教育支援計画……記入例①

NO. 1-2 (プロフィール表)

|                        |   |
|------------------------|---|
| 児童生徒の現在の様子             | [身体・運動、生活 (よく行く場所など)、社会性、学習など]                                    |
|                        | (身体) ・肘に動きにくさがある。   |
|                        | ・背骨の曲がりも心配されるので、姿勢を保持する指導が重要である。                                  |
|                        | ・思春期にホルモンバランスが崩れる心配がある。   |
|                        | ・着替えには時間がかかるが、一人できる。  |
|                        | (身辺自立) ・排尿を長時間放課と昼放課に促す必要がある。                                     |
|                        | ・給食は自分で食べることができる。   |
|                        | (運動) ・体を動かして遊ぶことが好き。  |
|                        | ・マット運動などで肘を使う場合は補助が必要である。   |
|                        | ・手すりを使って階段の上り下りができる。  |
|                        | (家庭) ・母親とは月1回程度会っている。   |
|                        | ・祖父母との仲が悪く、家では部屋に閉じこもることが多いとのこと                                   |
|                        | (社会性) ・「おはよう」とあいさつを返すことができる。                                      |
|                        | ・特別支援学級の友達とは仲良く遊ぶことができるようになってきた。                                  |
|                        | (学習) ・文字は枠内に書ける。  |
|                        | ・時間の感覚や曜日のイメージがもてる。   |
|                        | (特性) ・明るく活動的な性格であるが、大勢の前では過度に緊張して動けなくなることがある。 ( 年 月 日 記入者 ○○ ○○ ) |
|                        | <医療>  |
|                        | ・給食後の服薬を欠かさないようにする。 <○○大学付属病院・○○医師>                               |
|                        | <地域>  |
| ・下校後は○○児童館で夕方まで過ごしている。 |   |
| 生活マップ                  |   |
|                        |   |

個別の教育支援計画……記入例①

NO. 2 (経年記録表)

|   |   |   |   |      |       |
|---|---|---|---|------|-------|
| 児童・生徒名  | 〇〇 〇〇   | 作成年月日   | 〇年〇月〇日  | 作成者名 | 〇〇 〇〇 |
| 入学前（幼稚園・保育所・小学校）の情報<br>・排尿を2時間ごとに促す必要がある。<br>（年長組担任〇〇保育士） |   |   |   |      |       |
| 将来の希望   |   | 各期の目標   | 各期における担任・関係機関による支援  |      |       |
|   | 入学期   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校生活のリズムに慣れる。</li> <li>・学級で安心して過ごせるようになる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導教室(言語)で、個別指導を進め、小2より特別支援学級(知的)入級。</li> <li>・交流学級の担任と連携し、交流及び共同学習を組んで行ったが、授業内容の理解が不十分だったので、いったん中止した。</li> </ul>                            |      |       |
|   | 小中学年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ自分の思いを言葉で言えるようにする。</li> <li>・自分のできること、興味のあることを知り、自分なりに挑戦することができるようにする。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉は少ないものの、意思が伝えられるようになり、交流及び共同学習を再開した。</li> <li>・家庭では、児童館へ積極的に出かけるようにする。</li> <li>・〇カニックにて言語訓練を終了する。訂正</li> <li>・〇〇学園にて再開(年月)記入者〇〇</li> </ul> |      |       |
|   | 小高学年  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや願いを言葉で伝えられるようにする。場に応じた言い方を学ぶ。</li> <li>・自分のできること、興味のあることを知り、自分なりに挑戦したり継続したりできるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇大学附属病院にて経過観察中。</li> <li>・計算能力を補うため、計算機の使い方を指導し、買い物ごっこができた。</li> <li>・〇〇中学への体験入学を2回実施して、進学先を父親と相談の上決定した。</li> </ul>                          |      |       |
|   | 中学  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇中学校の特別支援学級(知的)で社会性を伸ばす。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の協力を得て、買い物の練習を繰り返す行う。</li> <li>・交流及び共同学習の場や部活動を通して、人とかかわる力を伸ばす。</li> </ul>  |      |       |
|   | 高校  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇特別支援学校の高等部、または専門学校へ進学し、実社会で生きていく力を身に付ける。</li> </ul>   |   |      |       |
| 成人  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害を理解して雇用してくれる会社で働き、自立した生活を送る。</li> </ul> |   |   |      |       |

個別の教育支援計画……記入例①

NO. 3 (支援の計画表)

年 月 日作成

|   |   |   |              |  |                      |      |
|---|---|---|--------------|--|----------------------|------|
| 学 年   | 児童<br>生徒<br>氏名  | 〇〇 〇〇   | 作成者          | 〇〇 〇〇  | 所属                   | 〇〇〇〇 |
| 6年  |   |   |              |  | 職名                   | 〇〇   |
| 本人の<br>願 望  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と仲良くしたい。</li> <li>・自分のできることを増やしていきたい。</li> </ul>  |   | 保護者の<br>願 望  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に掃除をする等、できることはやらせていきたい。</li> </ul>  |                      |      |
| 本年度の<br>目 標   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや願いを短い言葉(2語続けて)で表現することができる。</li> <li>・放課は交流学級で友達と一緒に過ごすことができる。</li> <li>・ひも結びやボタン留めがスムーズにできる。</li> </ul> |   | 支援の<br>手 だ て | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭内でも主語、述語をつけて会話するように配慮する。</li> <li>・放課・給食時は交流学級へ移動して児童と共に遊ぶ。</li> <li>・自立活動で取り組み、日常生活の中で学習したことを生かす場を設定することで、自信をつけられるようにする。</li> </ul> |                      |      |
| 現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど   |   |   |              |  | 連 絡 先 ・ 担 当 者        |      |
| 関係機関の<br>具体的支援・<br>連携等  | 医療  | ・〇〇大学附属病院で検診中。  |              |  | 〇〇科〇〇医師              |      |
|   | 福祉  | ・〇〇学園で言語訓練を受けている。長期休業中に訪問をし、連携を図っている。   |              |  | Tel ( ) -            |      |
|   | 教育  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇中学校特別支援学級(知的)への進学を主に連携をとる。</li> <li>・〇〇特別支援学校にも体験入学へ行く予定(10月)。</li> </ul> |              |  | 〇〇中学〇〇教諭<br>〇〇特別支援学校 |      |
|   | 地域  | ・帰宅後は〇〇児童館で過ごすことが多く、持ち物(おこづかい)の保管を依頼している。   |              |  | Tel ( ) -            |      |
|   | 労働  |   |              |  |                      |      |
|   | 保健  |   |              |  |                      |      |
|   | その他   | ・〇〇特別支援学校の巡回指導で、〇〇先生より本人が落ち着ける場所を作ることをアドバイスされた。   |              |  |                      |      |
| 【 合理的配慮 】   |   |   |              |  |                      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・靴に履き替えるのに時間がかかるため、下駄箱を特別支援学級教室の掃き出し窓のところに置き、本人のペースで慌てずに靴の脱ぎ履きができるようにする。</li> <li>・交流学級での授業は、大人と一緒にか、話しかけてくれる子の近くの席にする。</li> </ul>           |   |   |              |  |                      |      |
| 【 評 価 】   |   |   |              |  |                      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が続き、会話の成立がスムーズになった。</li> <li>・交流学級で、声をかけてくれる児童ができた。</li> </ul>  |   |   |              |  |                      |      |
| 【 次年度への引継事項 】   |   |   |              |  |                      |      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学級では〇〇さんには自分から話しかけることができるので、座席を近くにしてほしい。</li> <li>・〇〇児童館との連絡を密にして、時々様子を見てもらえるとよい。</li> <li>・道路の横断方法や信号機の確認など、交通ルールの習得を継続してほしい。</li> </ul> |   |   |              |  |                      |      |
| 心<br>理<br>検<br>査  | 検査の種類   | [ 田中ビネーV ]  | 検査の結果        | [ IQ : 55 ]  |                      |      |
|   | 検査者名  | [ 〇〇 〇〇 ]   | 検査月日         | [ 〇〇年〇〇月〇〇日 ]  |                      |      |
|   | 検査の種類   | [ ]   | 検査の結果        | [ ]  |                      |      |
|   | 検査者名  | [ ]   | 検査月日         | [ 年 月 日 ]  |                      |      |
| 【特記事項】 特になし   |   |   |              |  |                      |      |

個別の教育支援計画……記入例②

個別の教育支援計画

NO. 1-1 (プロフィール表)

○年○月○日作成

|         |  |           |           |   |               |
|---------|--|-----------|-----------|---|---------------|
| ふりがな    | ○○ ○○  |           | 学校名       | ○○○○中学校   |               |
| 氏名      | ○○ ○○  |           | 学年        | 生年月日  |               |
|         |  |           | 年         | ○年○月○日  |               |
| ふりがな    |  |           |           |   |               |
| 住所      | 〒○○○—○○○<br>○○○○○○○○○○○○○○○○   |           | TEL ( ) — |   |               |
| 家族構成    | 続柄   | 氏名        | 職業・学校等    | その他の特記事項  |               |
|         | 父  | ○○ ○○     | 会社員       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での障害理解・受容は良好で、兄妹の人間関係も良い。</li> <li>・近くに父方の祖父母が住んでいる。</li> </ul> |               |
|         | 母  | ○○ ○○     | 保育士       |   |               |
|         | 兄  | ○○ ○○     | ○○高等学校3年生 |   |               |
|         | 妹  | ○○ ○○     | ○○小学校6年生  |   |               |
|         |  |           |           |   |               |
| 生育歴     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出生時2,860g歩きはじめ17ヶ月 始語20か月</li> <li>・1歳半健診で、言語の遅れと低身長を指摘される。</li> <li>・3歳健診で、発達の遅れを指摘される。児童相談所を紹介され、検査を受けて知的障害と判定される。また、市の言語訓練教室を紹介され、通い始める。</li> <li>・○○年 ○月 年中 ○○保育所(障害児保育)に通園し始める。</li> <li>・○○年 ○月 4才「自閉スペクトラム症」と診断される。&lt;○○市民病院・○○医師&gt;</li> <li>・○○年 ○月 小1 ○○小学校 特別支援学級(自閉症・情緒障害)に入学。</li> <li>・○○年 ○月 中1 中学校 特別支援学級(自閉症・情緒障害)に入学。</li> </ul> |           |           |   |               |
|         | 医療機関等の相談記録   | 年齢        | 相談機関名     | 内容  |               |
|         |  | 1歳        | ○○保健所     | 言語の遅れと低身長の指摘を受ける。   |               |
|         |  | 3歳        | ○○児童相談所   | 知的障害と判定され、言語訓練教室を紹介される。   |               |
|         |  | 4歳        | ○○市民病院    | 自閉スペクトラム症と診断される。  |               |
|         | 障害の状況  | 自閉スペクトラム症 |           |   |               |
|         | 手帳   | 療育手帳      | 〔有・無〕     | A〔B〕C   | 〔認定 平成 年 月 日〕 |
| 身体障害者手帳 |  | 〔有・無〕     | 種 級       | 〔認定 平成 年 月 日〕   |               |

・このページは3年ごとに更新することを原則とする。なお、追記は随時行う。  
 ・保護者との協力の下に記述する。  
 ・実態把握の視点については、「障害のある子どもの教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて」[文部科学省初等中等教育局特別支援教育課・令和3年6月]の第3編「障害の状態等に応じた教育的対応」を参考。



個別の教育支援計画.....記入例②

NO. 2 (経年記録表)

|  |  |  |  |      |       |
|--|--|--|--|------|-------|
| 児童・生徒名   | 〇〇 〇〇  | 作成年月日  | 〇年〇月〇日   | 作成者名 | 〇〇 〇〇 |
| 入学前（幼稚園・保育所・小学校）の情報<br>・4歳から障害児保育に通園し始める。<br>・言葉の遅れが目立つ。語彙が少なく、自分から話すことが少ない。<br>・集団行動は苦手である。 |  |  |  |      |       |
| 将来の希望  | 各期の目標  |  | 各期における担任・関係機関による支援   |      |       |
|  | 入学期  | <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境に少しずつ慣れ、落ち着いて過ごすことができる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育園との情報交換を密にし、焦らずに小学校の生活に慣れるように見守る。</li> <li>市の言語訓練教室と連携を図り、情報を指導に生かす。</li> </ul>                           |      |       |
|  | 小中学年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習用具を自分で用意したり、最後まで片付けたりできるようになる。</li> <li>決まった手伝いができる。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で気が付いて行動できるように、指示や声掛けの仕方に注意する。</li> <li>吃音や発音不明瞭なことを気にせず、話ができるように雰囲気作りをする。</li> </ul>                     |      |       |
|  | 小高学年   | <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な日記や作文を書ける。</li> <li>一人で買い物に行ったり、決まった手伝いをしたりできる。</li> <li>自分の言いたいことを分かりやすく伝えることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名や片仮名を書く力を確実につける。</li> <li>単語を正しく書く練習をし、助詞の使い方を日常の場面で教えていく。</li> <li>自分がしたことや思ったことを言葉に表す練習をする。</li> </ul> |      |       |
|  | 中学   | <ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇中学校の特別支援学級で社会性を伸ばす。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭の協力を得て、買い物の練習を繰り返す。</li> <li>交流及び共同学習の場や部活動を通して、人とかかわる力を伸ばす。</li> </ul>                                   |      |       |
|  | 高校   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校へ進学し、就労に向けての力を身に付ける。</li> </ul>   |  |      |       |
| 成人   | <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉就労をする。</li> </ul> |  |  |      |       |



個別の指導計画……様式例と作成上の留意点

( ) 年度 個別の指導計画

年 月 日作成

|            |  |   |  |   |   |
|------------|--|---|--|---|---|
| 学年         | 児童生徒氏名   | 作成者   | 所属<br>職名   | 学校  |   |
| 本年度の目標     | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人の実態から、実現可能と思われる目標を設定する。</li> <li>学習上と生活上の目標を設定するとよいが、どちらかでもかまわない。</li> </ul>  |   | 支援の手だて   | <ul style="list-style-type: none"> <li>担任以外の支援も検討し記入する。</li> <li>目標と対応した手だてを設定する。</li> </ul>  | 目標」「手だて」「願い」の三つについては、個別の教育支援計画がある場合、その内容と一致させ、整合性をもたせる。 |
| 願い         | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人や保護者の願いを、早い時期に教育相談や家庭訪問で聞き取る。</li> <li>保護者の願いを聞くときには、子供の実態を反映したものになるよう、十分に意見交換をする。</li> </ul>   |   |  |   |   |
| 場面         | 短期の目標  | 主な支援場面 (担当者)  | 具体的支援  | 評価  |   |
| 学習上の支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の目標を達成するための下位目標を、本人の実態に合わせ、具体的な姿で設定する。「進んで」「きちんと」などは避ける)</li> <li>すべての教科で設定する必要はない。</li> <li>目に見える形で評価できる目標がよい。</li> <li>学習上の目標は、学期ごとに設定する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>チームで支援する意識を高めるために、できるだけ多くの支援場面を設定する</li> <li>また、場面場面で誰が支援を行うかをはっきりさせておくと効果も上がる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達成するための手だてを、細かく記載する。</li> <li>変更点等があれば、その都度加筆修正する。</li> <li>どの単元で行うかについても計画しておく。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「具体的支援」に対する本人の反応や結果について記載する。</li> <li>PDCAのサイクルで、ここでの評価を次の目標や支援の手だての設定に生かす。</li> <li>担任一人の評価ではなく、コーディネーターが中心となって、学校全体で評価する。</li> </ul> |   |
| 生活上の支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活面については学習面よりも長い期間で目標を立てる場合が多い。(学習面よりも地道な支援が必要になることが多いため)</li> <li>記入の際の留意事項は、「学習上の支援」の場合と基本的に同じである。</li> </ul>   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>本人の状態によって柔軟に対応していけるように、加筆修正がしやすい形で記載する。</li> <li>目標や手だてが合わないときには、支援者同士や保護者との連携により適宜変更する。</li> </ul> |   |   |
| 経過記録       | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標に対しての大まかな姿や経過を中心に記入する。</li> <li>本人の様子や保護者の言葉などから大きな変化があったと思われること、検査や相談等の記録および結果、あるいは、外部機関との連携に関する事などについて記載する。</li> </ul>                                |   |  |   |   |
| 次年度への引継ぎ事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>次年度も継続すること、また変更することなど、保護者や支援する教師同士の確認も取りながらまとめておく。(主なものを5つくらいまでが現実的)</li> </ul>   |   |  |   |   |

- 本シートは1年更新とする。なお、追記は随時行う。
- 本人の気持ちを大切に無理のない支援方法を考え、記載する。

個別の指導計画.....記入例

( ) 年度 個別の指導計画

年 月 日作成

|  |  |                    |   |   |  |       |
|--|--|--------------------|---|---|--|-------|
| 学 年  | 児童<br>生徒<br>氏名   | ○ ○ ○ ○            | 作成者   | △△ △△   | 所 属  | □□小学校 |
| ○年   |  |                    |   |   | 職 名  | 教諭    |
| 本<br>年<br>度<br>の<br>目<br>標                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の係活動ができるようになる。</li> <li>・落ち着いて授業を受けることができる。</li> </ul>   |                    | 支<br>援<br>の<br>手<br>だ<br>て                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物好きであるため、メダカ係にすることで、意欲の向上と継続的な活動を目指す。</li> <li>・座席を最前列廊下側に固定したり、授業の流れを示したりする。</li> </ul> |  |       |
| 願<br>い   | <p>【本 人】友達と仲良く遊びたい。</p> <p>【保護者】①基礎学力を身に付けてほしい。②先生の言うことを聞ける子になってほしい。</p>   |                    |   |   |  |       |
| 場<br>面   | 短期の目標  | 主な支援場面<br>(担当者)    | 具 体 的 支 援   |   | 評 価  |       |
| 学<br>習<br>上<br>の<br>支<br>援                     | ・漢字を丁寧に書く。   | 国語<br>(T T)        | ・マス目が大きく本人の好きなキャラクター入りの原稿用紙を常に準備しておき、マス目の枠内に手本を視写できるようにする。  |   | ・原稿用紙の活用により意欲が向上し、枠内に丁寧に書くことができた。            |       |
|  | ・作品制作に最後まで取り組む。  | 図画工作<br>(教科担任)     | ・完成作品を準備し、制作手順をカードにして順番に提示する。                               |   | ・作業の見通しをもてると、我慢強く最後まで取り組めた。                  |       |
|  | ・動物の飼育を毎日続ける。  | 理科<br>学級活動<br>(担任) | ・理科「生命のたんじょう」の学習の際、メダカのエサやり係に任命し、活動ができれば、記録ノートにシールを貼るようにする。 |   | ・「自分のメダカ」という意識が芽生え、授業に向かう姿勢が改善された。           |       |
| 生<br>活<br>上<br>の<br>支<br>援                     | ・順番を守って行動する。   | 学級活動 朝帰りの会 休憩時間 給食 | ・順番に行う場面では、あらかじめ一人一人の順番を伝えるようにし、順番通りにできたときは、褒める。            |   | ・何でも一番になりたがることを我慢できるようになってきた。                |       |
|  | ・クールダウンが必要なときは、そのことを告げて、教師の指示を聞いてから保健室へ移動する。   | 学校生活全般             | ・クールダウンが必要なことを伝える話型を練習しておく。伝えられたら移動できるよう、教師間の連携を図っておく。      |   | ・伝えてから移動できるようになってきた。今後は戻るまでの時間が少しずつ短くしていきたい。 |       |
| 経<br>過<br>記<br>録                               | <p>○月 ソーラーカー制作で、手伝ってくれた友達に「ありがとう」と自分から言えた。</p> <p>○月 家庭でもメダカを飼育し始め、エサをやっていると母親から連絡があった。</p>  |                    |   |   |  |       |
| 次<br>年<br>度<br>へ<br>の<br>引<br>継<br>ぎ<br>事<br>項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が「自分でできる」と思わないと意欲が出てこないなので、一つずつ本人ができそうな目標を示し、できたら褒めるようにしてほしい。(作業手順をカードで視覚的に示すと効果的である)</li> <li>・現在の連絡帳を同じ方法で使用し、保護者との連絡をさらに密にしていく必要がある。</li> <li>・養護教諭との連携を深めて、クールダウン時の対処に当たること。</li> <li>・通学班の班長には、登校時のトラブルへの対処法を事前指導しておくこと。</li> </ul> |                    |   |   |  |       |

## 参考情報

### ○ 関係法令・通知等

- ・ 「発達障害者支援法」(平成16年12月10日法律167号)
- ・ 「発達障害のある児童生徒等への支援について」  
(平成17年4月1日付け17文科初第211号文部科学省関係局長連名通知)
- ・ 「特別支援教育を推進するための制度の在り方について」  
(平成17年12月8日中央教育審議会答申)
- ・ 「学校教育法施行規則の一部改正等について」  
(平成18年3月31日付け17文科初第1177号文部科学省初等中等教育局長通知)
- ・ 「学校教育法等の一部を改正する法律」(平成18年6月21日法律第80号)
- ・ 「特別支援教育の推進のための学校教育法等の一部改正について」  
(平成18年7月18日付け18文科初第446号文部科学事務次官通知)
- ・ 「学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令等の整備について」  
(平成19年3月30日付け18文科初第1290号文部科学事務次官通知)
- ・ 「特別支援教育の推進について」  
(平成19年4月1日付け19文科初第125号文部科学省初等中等教育局長通知)
- ・ 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について」  
(平成30年8月27日付け30文科初第756号文部科学省初等中等教育局長通知)

### ○ インターネットによる情報

- ・ 文部科学省特別支援教育関係ホームページ  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm)  
(※特別支援教育に関することへリンク)
- ・ 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所ホームページ  
<http://www.nise.go.jp/>  
(※独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所ホームページへリンク)
- ・ 発達障害教育情報センターホームページ  
<http://icedd.nise.go.jp/blog/>  
(※独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所から発信している情報サイト)
- ・ 発達障害情報センターホームページ  
<http://www.rehab.go.jp/ddis/index.html>  
(※厚生労働省から発信している発達障害に関する情報サイト)
- ・ 愛知県教育委員会関係ホームページ  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tokubetsushienkyoiku/>  
(※特別支援教育に関することへリンク)
- ・ 愛知県総合教育センター関係ホームページ  
<https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/page-4298/page-2008.html>  
(※特別支援教育の広場へリンク)
- ・ あいち発達障害者支援センターホームページ  
<https://www.pref.aichi.jp/site/asca/>  
(※発達障害者支援に関する情報サイト)

小・中学校「個別の教育支援計画」作成ガイドブック

平成21年3月 発行

令和6年12月 改訂

愛知県教育委員会特別支援教育課

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6792(ダイヤル)